

令和4年度（2022年度）

熊本県立八代中学校

シラバス（第2学年）



目 次

国語	2
社会	5
数学	7
理科	10
音楽	13
美術	15
保健体育	16
技術分野	18
家庭分野	20
英語	22

令和4年度 八代中学校シラバス

教科	国語	科目	国語	学年	2	類型	
単位数	4	教科書	東京書籍 新しい国語2				
副教材	増補版国語便覧熊本県版、基礎の学習2、常用漢字ダブルクリア、中2徹底演習テキスト国語						

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高める。 ・思考力や創造力を養い言語感覚を豊かにする。 ・国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる。
------	--

学期	学習内容	学習の到達目標 (完全に理解すべき事項)	到達自己評価		
			A	B	C
1 学期	未来へ	・さまざまな表現に注意して詩の意味を捉え、工夫して音読する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	手紙の効用	・キーワードの意味に注意して、筆者の考えを捉える。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	短歌を楽しむ	・随筆を手がかりに短歌を読み味わう。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	短歌五首	・短歌の表現の工夫などを捉えて、鑑賞したことをまとめる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	短歌のリズムで表現しよう	・自然や体験の描き方を工夫して、短歌を作る。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	話し言葉と書き言葉	・話し言葉と書き言葉の特徴について理解する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	形の似た漢字	・形の似た漢字に注意する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	字のない葉書	・登場人物の言葉や行動の意味に着目して、作品を読み味わう。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	人物像を捉える	・登場人物のものの見方や考え方について、自分の考えを持つ。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	辞書に描かれたもの	・人物の言葉や行動・態度から、人物像や考え方を読み取る。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	相手の立場を踏まえ、考えを深める	・相手の立場に立って想像し、話を丁寧に受け止め、多様な考えに触れて自分の考えを深めたり新たな発想を生み出したりする。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	考えを比べながら聞こう	・相手の考えとその根拠に注意して話を聞き、自分の考えと比べる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	敬語	・敬語の種類や使い方について理解する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	他教科で習う漢字(1)	・他教科で学習する言葉で使われる漢字を学ぶ。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	情報を図や表に整理する	・必要な情報を整理し複雑な情報は項目を立て表を作ってまとめる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	ハトはなぜ首を振って歩くのか	・文章と図表を結びつけて読み、図表の役割を考える。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	郷土の良さを伝えよう	・身近な地域から題材を決め、読み手を意識しながら表現の効果を確かめて文章を推敲する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
用言の活用	・用言の活用の種類や、活用形について理解する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
漢字の意味	・漢字の意味を理解し、漢字を使いこなす。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
卒業ホームラン	・登場人物の言動の意味に着目し小説を鑑賞する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
本で世界を広げよう	・成長をテーマにした本を読み、生き方について考える。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
ビブリオバトルをしよう	・ビブリオバトルを行い、読書への興味関心を高める。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
2 学期	黄金の扇風機	・二つの文章の論展開を比較し、それぞれの特徴をつかむ。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	サハラ砂漠の茶会	・自分の知識や体験と結びつけて、自分の考えを書く。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	論証の説得力を見極める	・筆者の主張と根拠との整合性について判断し、説得力のある文章とはどのようなものか学ぶ。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	根拠を吟味して書こうー「地図」の意見文	・文章構成について工夫し、分かりやすく説得力のある意見文を書く。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	説得力のある提案をしよう	・聞き手の立場や考えを想定して、説得力のある話を組み立てる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	助詞	・助詞の種類や働きについて理解する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	同訓異字	・同訓異字を理解し、適切に使い分ける。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	落葉松	・詩に描かれた情景や心情を捉えリズムを感じ取りながら朗読する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	枕草子・徒然草	・筆者のものの見方や考え方、表現の仕方を捉える。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	平家物語	・状況や心情を読み取り、武士の価値観や生き方について考える。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

	漢詩 依頼文やお礼状を書こう 助動詞 他教科で学ぶ漢字(2) 走れメロス 人物を描写しよう 類義語・対義語 鯉節—世界に誇る伝統食 本で世界を広げよう 調べて一枚レポートにまとめよう	・表現の特徴に注意して朗読し、漢詩を味わう。 ・読み手を意識して、適切な表現になるように文章を推敲する。 ・助動詞の種類や意味について理解する。 ・他教科で学習する言葉で使われる漢字を学ぶ。 ・人物や情景の効果的な描写に着目して、作品を読み深める。 ・人物の言動の意味に注意して、人物像を捉える。 ・人物像が伝わるように、人物の言葉や行動・態度などを描写する。 ・類義語や対義語について理解する。 ・日本の食文化について学ぶ。 ・日本文化についての多様な本を読み、見聞を広める。 ・日本文化について調べたことを一枚レポートにまとめる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
3 学 期	「正しい」言葉は信じられるか 質問する・反論する 話し合いで問題を検討しよう— リンクマップによる話し合い 想像を誘うように表現する いきいきと描き出そう 同音異義語 わたしが一番きれいだったとき 坊っちゃん 名作を読もう	・事実の述べ方による、読み手に与える印象の違いについて考える。 ・問題の争点を捉えたり、的確な反論を考えたりする。 ・さまざまなメディアを使って討論のテーマを決め、メリットとデメリットを出し合う。 ・描き方を工夫して、想像を誘う表現をする。 ・情景や心情などをいきいきと表すように、描写を工夫して物語を作る。 ・同音異義語を使い分ける。 ・心情が読み取れる言葉に注意して詩を読む。 ・文学作品を読み、登場人物の考え方や人物像について考える。 ・さまざまな文学作品を読み、豊かな心を育む。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

※A：十分に満足できる B：概ね満足できる C：努力を要する

学習方法	<p>【授業の進め方やポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教科書をよく読んで内容の理解に努める。 ○音読に積極的に取り組む。 ○授業ノートはただ板書を写すだけではなく、疑問や考えなどを積極的に記入する。 ○配られたプリントをフラットファイルに綴じ、整理すると共に自分の考えを記入する。 ○文章の内容を自分の問題として考え、自分の意見や考えを持つようにする。自分の考えを述べる発言で表現力を伸ばす。 ○感想や疑問をしっかり出し合い、他者の発言に耳を傾ける。そして、自分との共通点や相違点を理解し、考えを深める。 <p>【家庭学習の進め方やポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新しい単元の前に、新出漢字と語句の確認をする。（「基礎の学習2」の利用、辞書の活用） ○授業の後に授業ノートやプリントを見直すなどの復習をする。（「基礎の学習2」の活用） ○出された課題や宿題を必ず仕上げる。 ○漢字テストで満点が取れるように、毎日の漢字練習を継続する。 ○習った漢字や語句を何度も練習し、定着させる。 ○自分の使える言葉や漢字を増やすために、ふだんから沢山の文章（新聞等）を読み、分からない言葉や漢字を調べる習慣を身につける。積極的に辞書を引く。
------	--

	知能・技能 (40%)	思考・判断・表現 (30%)	主体的に学習に取り組む態度 (30%)
	社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、言語感覚を豊かにし、言葉

評価方法		えを広げたり深めたりしている	を適切に使おうとしている
	定期テスト、小テスト 授業時の課題	定期テスト、小テスト 授業時の課題、発表	定期テスト、小テスト 授業時の課題、発表 授業中の様子、課題の提出状況

令和4年度 八代中学校シラバス

教科	社会	科目	社会	学年	2	類型	
単位数	3単位	教科書	新しい社会 歴史（東京書籍） 中学生の地理（帝国書院） 中学校社会科地図（帝国書院）				
副教材	歴史資料集（新学社） 社会の自主学習歴史2・3（新学社） 社会の自主学習地理日本（新学社） 実力錬成テキスト社会全						

学習目標	我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。
------	---

学期	学習内容	学習の到達目標 (完全に理解すべき事項)	到達自己評価 A B C
1 学 期	【歴史的分野】 第4章 近世の日本 3 産業の発達と幕府政治の動き	・産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりなどを通して町人文化が都市を中心に形成されたことや各地方の生活文化が生まれたことを理解する。 ・享保の改革、寛政の改革、天保の改革の内容と幕府政治の行き詰まりについて理解する。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	第5章 開国と近代日本の歩み 1 欧米における近代化の進展	・欧米諸国における市民革命や産業革命、アジア諸国の動きなどを通して欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解する。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	【地理的分野】 第2部 日本のさまざまな地域	・地球儀や地図を活用し、我が国の国土の位置、世界各地との時差、領域の特色と変化、時代区分などを通して日本の地域構成について理解する。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	第1章 身近な地域の調査	・身近な地域の調査について、地域的特色や地域の課題とともに、身近な地域の調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方や発表の方法を理解する。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	第2章 日本の地域的特色	・世界的視野や日本全体の視野から見た日本の地域的特色を理解する。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	2 学 期	【歴史的分野】 第5章 開国と近代日本の歩み 2 欧米の進出と日本の開国 3 明治維新	・欧米諸国のアジア進出と関連づけて日本の開国とその影響について考察する。 ・明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解する。 ・自由民権運動、大日本帝国憲法の制定を通して立憲制の国家が成立して議会政治が始まったことを理解する。
【地理的分野】 第3章 日本の諸地域		・九州地方について、環境問題や環境保全を中核とした考察の仕方をもとに地域的特色を理解する	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
1 九州地方		・中国・四国地方について、人口や都市・村落を中核とした考察の仕方をもとに地域的特色を理解する。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
2 中国・四国地方		・近畿地方について、歴史的背景を中核とした考察の仕方をもとに地域的特色を理解する。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
3 近畿地方		・中部地方について、産業を中核とした考察の仕方をもとに地域的特色を理解する。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
4 中部地方		・関東地方について、他地域との結びつきを中核とした考察の仕方をもとに地域的特色を理解する。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
5 関東地方		・東北地方について、生活・文化を中核とした考察の仕方	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
6 東北地方			

		をもとに地域的特色を理解する。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
3 学 期	【歴史的分野】 第5章 開国と近代日本の 歩み	・大陸と我が国との関係に着目して日清・日露戦争の背景やその後の影響などを理解する。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	4 日清・日露戦争と近代産業	・我が国でも産業革命がおこり近代産業が発展し、近代文化が形成されたことを理解する。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	【地理的分野】 第3章 日本の諸地域	・北海道地方について、自然環境を中核とした考察の仕方をもとに地域的特色を理解する。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	7 北海道地方 第4部 地域の在り方	・地域をより良くしていくために、地理的な見方・考え方を働かせて地域をとらえ、発展させていく方法を考える。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

※A：十分に満足できる B：概ね満足できる C：努力を要する

学習方法	授業は基本的事項を押さえながら自分で図や表にまとめたり、スライドを作成して発表したりしていきます。単元毎にまとめの活動や小テストを実施します。副教材の問題集を使用して予習・復習を行ってください。		
評価方法	知能・技能 (40%)	思考・判断・表現 (30%)	主体的に学習に取り組む態度 (30%)
	学習した内容の基礎的・基本的な事項を身に付けることができる。年表や歴史、地図など様々な資料を収集し、必要な情報を適切に選択し活用することができる。	教科書の記述やグラフ、図など様々な資料を適切に収集、活用して事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに、適切に表現することができる。	学習内容を理解しようと積極的に学習に取り組んでいる。話し合いなどで積極的に意見を出したり他人の話に耳を傾けたりしている。
	定期テスト、小テスト 授業時の課題	定期テスト、小テスト 授業時の課題、発表	定期テスト、小テスト 授業時の課題、発表 授業中の様子

令和4年度 八代中学校シラバス

教科	数学	科目	数学	学年	2	類型	
単位数	4	教科書	数研出版 これからの数学2 数研出版 これからの数学3				
副教材	数研出版 STEP 演習 中学数学2 数研出版 STEP 演習 中学数学3						

学習目標	<p>年間を通して、以下の能力を養う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○平面図形の性質について活動を通して理解を深め、性質を論理的に考察し表現する能力 ○不確定な事象を調べ、確率や標本調査について理解し用いる能力 ○式の展開や、因数分解について理解し用いる能力 ○二次方程式を理解し活用する能力 ○既習の数学を基にして、数や図形の性質を見だし活用する能力 ○将来の八代高校生として、大学入試に対応できる能力（→応用問題で扱う）
------	---

学期	学習内容	学習の到達目標 (完全に理解すべき事項)	到達自己評価 A B C
1 学 期	【これからの数学2】 4章 図形の性質と合同 1 平行線と角 2 三角形の合同 3 証明	<ul style="list-style-type: none"> ○平行線や角の性質を理解している。 ○多角形の内角の和や外角の和について考察し、説明することができる。 ○三角形の合同条件を理解している。 ○2つの三角形が合同であるかどうかについて、三角形の合同条件をもとにして説明することができる。 ○証明の必要性と意味を考え、根拠を明らかにして証明しようとしている。 	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	5章 三角形と四角形 1 三角形 2 四角形	<ul style="list-style-type: none"> ○証明の必要性と意味を理解している。 ○正三角形の性質や正三角形になるための条件を論理的に考察し、証明することができる。 ○平行四辺形、長方形、ひし形、正方形の間の関係を理解している。 ○平行四辺形の性質を具体的な場面で活用することができる。 ○面積が等しい三角形について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	6章 データの活用 1 データの散らばり 2 データの傾向と調査	<ul style="list-style-type: none"> ○四分位数および四分位範囲の必要性と意味を理解している。 ○四分位数および四分位範囲の必要性と意味を考えようとしている。 ○四分位範囲や箱ひげ図から分布の傾向を読み取り、批判的に考察し判断することができる。 	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	7章 確率 1 確率	<ul style="list-style-type: none"> ○多数回の試行によって得られる確率と関連付けて、場合の数をもとにして得られる確率の必要性と意味を理解している。 ○同様に確からしいことに着目し、場合の数をもとにして得られる確率の求め方を考察し、説明することができる。 	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
2 学 期	【これからの数学3】 1章 式の計算 1 多項式の計算 2 因数分解 3 式の計算の利用	<ul style="list-style-type: none"> ○単項式と多項式の乗法の計算ができる。 ○既に学習した計算の方法をもとに、展開の公式を見いだすことができる。 ○共通な因数でくり出す因数分解ができる。 ○文字式で一般的に表現し説明することの必要性と意味を理解している。 ○文字を用いた式で数量及び数量の関係を捉え説明することができる。 	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	2章 平方根 1 平方根	<ul style="list-style-type: none"> ○数の平方根の必要性と意味を理解している。 ○有理数と無理数の違いについて考察し、説明することができる。 	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

	<p>2 根号をふくむ式の計算</p> <p>3章 2次方程式 1 2次方程式 2 2次方程式の利用</p> <p>4章 関数 $y=ax^2$ 1 関数 $y=ax^2$ 2 関数の利用</p> <p>5章 相似 1 相似な図形 2 平行線と線分の比 3 相似の利用</p>	<p>きる。 ○数の平方根の必要性和意味を考えようとしている。 ○平方根をふくむいろいろな計算ができる。 ○分母を有理化する方法を考えようとしている。</p> <p>○2次方程式の必要性和意味およびその解の意味を理解している。 ○平方根の考えをもとにして、2次方程式を解く方法を考察し、説明することができる。 ○因数分解をもとにして2次方程式を解く方法を考えようとしている。 ○2次方程式を具体的な場面で利用することができる。</p> <p>○関数 $y=ax^2$ の変域や変化の仕方について、原点や a の値に着目して考察し、説明することができる。 ○関数 $y=ax^2$ の表、式、グラフを相互に関連付けようとしている。 ○関数 $y=ax^2$ を利用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。</p> <p>○相似な図形の性質を理解している。 ○2つの三角形が相似であるかどうかについて、三角形の相似条件をもとにして説明することができる。 ○中点連結定理を平行線と線分の比の特別な場合として統合的に捉えることができる。 ○相似を利用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。</p>	<p>□ □ □ □ □ □ □ □ □</p> <p>□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □</p> <p>□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □</p>
3 学 期	<p>6章 円 1 円</p> <p>7章 三平方の定理 1 三平方の定理 2 三平方の定理の利用</p> <p>8章 標本調査 1 母集団と標本</p>	<p>○円周角の定理を用いて、角の大きさを求めることができる。 ○円周角と中心角の関係を見いだすことができる。 ○円周角と中心角の関係を見いだそうとしている。 ○円周角と中心角の関係を具体的な場面で利用できる。</p> <p>○三平方の定理の意味を理解し、それが証明できることを知っている。 ○三平方の定理を具体的な場面で利用できる。 ○三平方の定理を利用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。</p> <p>○標本調査の必要性和意味を理解している。 ○標本調査の方法や結果を批判的に考察し説明することができる。 ○標本調査を利用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。</p>	<p>□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □</p> <p>□ □ □ □ □ □ □ □ □</p> <p>□ □ □ □ □ □ □ □ □</p>

※A：十分に満足できる B：概ね満足できる C：努力を要する

学習方法	<p>まず予習として、練習や例題を解いて授業に臨みます。授業では、内容を理解することを重視し、ただ板書を写すことにならないよう気をつけます。具体的には、予習で理解が十分でなかったところや別解などをノートに余白部分に書きます。復習として問題集を使用して計画的に日々の演習を行います。また、週末には課題を解きます。加えて、定期考査以外にも小テストを行って、到達状況を確認します。</p>		
評価方法	<p>知能・技能 (3観点の割合は同じ)</p> <p>平面図形と数学的な推論、データの分布と確率、数の平方根、多項式と二次方程式、図形の相似、円周角と中心角の関係、三平方の定理、関数 $y=ax^2$、標本調査などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。 事象を数学化したたり、数学的に解釈したり、数学的に表</p>	<p>思考・判断・表現 (3観点の割合は同じ)</p> <p>文字を用いて数量の関係や法則などを考察する力、数学的な推論の過程に着目し、図形の性質や関係を論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、複数の集団のデータの分布に着目し、その傾向を比較して読み取り批判的に考</p>	<p>主体的に学習に取り組む態度 (3観点の割合は同じ)</p> <p>数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしたり、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとしたりしている。</p>

	現・処理したりする技能を身に付けている。	察して判断したり，不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を身に付けている。	
	定期テスト、小テスト、単元テスト	定期テスト、小テスト、単元テスト	提出物、授業態度、発表、ペア・グループ活動状況

教科	理科	科目	理科	学年	2	類型	
単位数	4単位	教科書	未来へひろがるサイエンス2 (啓林館)				
副教材	新中学問題集 (教育出版) ハイクラス徹底問題集中学2年 (文理) 理科Wプリント評価と確認 (新学社)						

学習目標	<p>科学に対する認識を高め、自らより深く調べようとする基礎を身につける。</p> <p>自然の事物・事象に進んでかかわり、目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に探究する能力の基礎と態度を育てるとともに自然の事物・事象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。</p>
------	--

学期	学習内容	学習の到達目標 (完全に理解すべき事項)	到達自己評価 A B C
1 学 期	<p>【物質】 化学変化と原子・分子 単元導入、学ぶ前にトライ！</p> <p>1章 物質の成り立ち</p> <p>2章 物質の表し方</p> <p>3章 さまざまな化学変化</p> <p>4章 化学変化と物質の質量</p> <p>力だめし、学んだ後にリトライ！ 科学で宝石を生み出す</p>	<p>1 化学変化についての観察、実験を行い、実験技能を習得するとともに、レポートを作成することで、観察・実験の結果を分析して解釈し、わかりやすく表現することができる。</p> <p>2 物質の変化やその量的な関係について理解させ、原子や分子のモデルと関連付けてみる見方や考え方ができる。</p> <p>3 物質を原子の記号や化学式で表し、化学変化を化学反応式で表すことができるようになる。</p> <p>4 分解や化合、酸化や還元などの基本的な化学変化の学習を通じて、化学変化の不思議さや面白さを実感する。</p> <p>5 化学変化において質量が保存されること、互いに反応する物質の質量の間には一定の関係があることなどを見いだすことができる。</p> <p>6 化学変化によって熱が入り出すことを理解する。</p>	<p>□ □ □</p> <p>□ □ □</p> <p>□ □ □</p> <p>□ □ □</p> <p>□ □ □</p> <p>□ □ □</p>
2 学 期	<p>【生命】 動物の体のつくりとはたらき</p> <p>1章 生物の体をつくるもの</p> <p>2章 植物の体のつくりとはたらき</p> <p>3章 動物の体のつくりとはたらき</p>	<p>1 生物の組織などの観察を行い、生物の体が細胞からできていること及び植物と動物の細胞のつくりの特徴を見いだす。</p> <p>2 消化や呼吸及び血液循環について、動物の体のつくりと働きとを関連付けて理解するとともに、その働きによって、動物の生命活動が維持していることを実感する。</p>	<p>□ □ □</p> <p>□ □ □</p>

	<p>4章 動物の行動のしくみ</p> <p>力だめし、学んだ後にリトライ！</p> <p>細胞内のリサイクル機能</p> <p>【エネルギー】</p> <p>電流とその利用</p> <p>単元導入、学ぶ前にトライ！</p> <p>1章 電流の性質</p> <p>2章 電流の正体</p>	<p>3 刺激に対する反応について、動物の体のつくりと働きとを関連付けて理解するとともに、その働きによって、動物の生命活動が維持していることを実感する。</p> <p>1 回路の電流や電圧を測定する実験を行い、回路の各点を流れる電流や各部に加わる電圧についての規則性を見いだすことができる。</p> <p>2 実験・観察を通して、電圧と電流の関係をグラフ化し、その規則性を見いだすとともに、金属線には電気抵抗があることを理解する。</p> <p>3 電流から熱や光などが取り出せることを実感し、電力の違いによって発生する熱や光などの量に違いがあることを見いだす。</p> <p>4 帯電した物体間では空間を隔てて力が働くこと及び静電気と電流は関係があることを見いだす。</p>	<p>□ □ □</p> <p>□ □ □</p> <p>□ □ □</p> <p>□ □ □</p> <p>□ □ □</p>
<p>3 学 期</p>	<p>3章 電流と磁界</p> <p>力だめし、学んだ後にリトライ！</p> <p>【地球】</p> <p>地球の大気と天気の変化</p> <p>単元導入、学ぶ前にトライ！</p> <p>1章 地球を取り巻く大気の様子</p> <p>2章 大気中の水の変化</p> <p>3章 天気の変化と大気の動き</p> <p>4章 大気の動きと日本の四季</p> <p>力だめし、学んだ後にリトライ！</p> <p>海洋と日本の天気の関係</p>	<p>5 実験・観察を通して、電流のまわりに磁界ができることや磁界中のコイルに電流を流すと力が働くことを見いだす。</p> <p>6 実験・観察を通して、コイルや磁石を動かすことにより電流が得られることを見いだすとともに、直流と交流の違いを理解する。</p> <p>1 天気の変化が主として大気中の水の状態変化と大気の動きによって引き起こされていることを理解する。</p> <p>2 身近な気象現象の観察や観測を継続的に行うことを通して、天気の変化の規則性を見いだすことができる。</p> <p>3 日本の気象の特徴を日本周辺の気団や大気の動き、海洋の影響とを関連付けた見方や考え方ができる。</p>	<p>□ □ □</p> <p>□ □ □</p> <p>□ □ □</p> <p>□ □ □</p> <p>□ □ □</p>

※A：十分に満足できる B：概ね満足できる C：努力を要する

学習方法	授業は観察や実験を中心に授業を進めていきます。板書を写すだけでなくプリントに自分の考えや他人の考えなどを書き留めてください。授業終了後、副教材の問題集を使ってしっかり復習しておきましょう。		
評価方法	知能・技能 (40%)	思考・判断・表現 (40%)	主体的に学習に取り組む態度 (20%)
	教科書に書かれた実験手順を基に実験を行うことができている。正しく実験器具を使用することができる。学習した内容の基礎的・基本的な事項を身に付けることができる。	教科書の記述やグラフ、図など様々な資料を適切に収集し、活用して事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに、適切に表現することができる。	学習内容を理解しようと積極的に学習に取り組んでいる。話し合いなどで積極的に意見を出したり他人の話に耳を傾けたりしている。提出物を忘れずに提出することができる。
	定期テスト 単元テスト 小テスト 授業時の課題	定期テスト 単元テスト 小テスト 授業時の課題	授業中の様子 課題の提出状況 定期テスト 発表

教科	音楽	科目	音楽	学年	2	類型	
単位数	1単位	教科書	中学生の音楽2・3上 中学生の器楽 (教育芸術社)				
副教材	県版 音楽ノート						

学習目標	<p>(1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。</p> <p>(3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。</p>
------	--

○歌唱 ◇器楽 ◎鑑賞 ●創作

学期	学習内容	学習の到達目標 (完全に理解すべき事項)	到達自己評価		
			A	B	C
1 学期	ヴァイオリンとギターで 「きらきら星」を弾いてみよう ◇◎「きらきら星」 Let's Create! ●リズムアンサンブル	<ul style="list-style-type: none"> ・楽器の構造を理解する ・正しい姿勢・正しい運指で弾く ・楽器の響きを味わいながら、表現を工夫して演奏する ・4分の4拍子で2小節のリズムをつくる ・つくったリズムを重ねて速度や強弱をつけて演奏する 	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 学期	響きの美しさを味わおう ◎「フーガ ト短調」曲の構成を理解して、曲想を味わおう 仲間とともに表情豊かに合唱しよう ○「校歌」 ○「合唱コンクール自由曲」 舞台芸術の特徴を理解して、その魅力を味わおう ◎オペラ・バレエ・ミュージカル	<ul style="list-style-type: none"> ・パイプオルガンの響きから、声部の多声的な重なり方や多声音楽のおもしろさを味わう ・仲間といっしょに校歌「道」の混声二部合唱を作り上げる ・歌詞の内容や曲想への関心とパートの役割と全体の響きとのかかわりを理解して曲にふさわしい表現を工夫して表情豊かに合唱する ・舞台芸術の特徴を、文化・歴史や他の芸術とのかかわり、曲想などから理解し、よさや美しさを根拠をもって批評する 	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3 学期	◎「交響曲第5番 運命」 卒業式に向けて ○大切なもの	<ul style="list-style-type: none"> ・ベートーベンとその作品について理解する。 ・オーケストラについて理解する。 ・曲の構成と曲想とのかかわりを理解し、そのよさや美しさを根拠をもって批評する ・曲想や魅力を生かして、卒業式に向け表現を工夫しながら合唱する 	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※A：十分に満足できる B：概ね満足できる C：努力を要する

学習方法	表現領域(「歌唱」、「器楽」、「創作」の三分野)、鑑賞領域で学習を進めていきます。実技を伴う授業です。真剣にそして積極的に取り組みましょう。また授業を通して音楽に限らず、文化というもので学習していきます。自分の財産となる素晴らしい作品に出会う時間にしてください。
------	---

	知能・技能 (40%)	思考・判断・表現 (40%)	主体的に学習に取り組む態度 (40%)
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。 	<p>音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい音楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。</p>	<p>音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>
	実技テスト 定期テスト 小テスト	定期テスト ワークシート	提出物 授業態 発表 ペア・グループ活動状況

教科	美術	科目	美術	学年	2	類型	全
単位数	1単位	教科書	美術2・3（光村図書）				
副教材	美術資料						

学習目標	<p>○主体的に美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を高める。</p> <p>○対象を深く見つめる力、感性や想像力を一層高め、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し創造的に表現する能力を伸ばす。</p> <p>○自然、美術作品や文化遺産などについての理解や見方を深め、心豊かに生きることと美術とのかかわりに関心を持ち、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を高める。</p>
------	---

学期	学習内容	学習の到達目標 (完全に理解すべき事項)	到達自己評価 A B C
1 学期	わかりやすく情報を伝える レオナルドとその時代	<ul style="list-style-type: none"> ・グラフィックデザインの魅力や意義を考え、生活の中で役立つピクトグラムを構想し制作する。 ・作品を鑑賞し、情報をわかりやすく伝えるための工夫を感じ取る。 ・作品にみられる意図や、工夫について探究し、作者の心情や感じ取ったことについて話し合う。 	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
2 学期	北斎からゴッホへ	<ul style="list-style-type: none"> ・ものの見方や感じ方を深め、新鮮な視点で対象の形や色彩の特徴をとらえて自分らしく表現するなどしてスケッチ・立体制作に親しむ。 ・日本の美術が西洋の美術に与えた影響について考える。 	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
3 学期	色と形の挑戦 心でとらえたイメージ	<ul style="list-style-type: none"> ・感情や季節、音などのイメージを自分独自の発想や方法で表現する。 ・作品を鑑賞し、作者の表現の意図や工夫を感じ取る。 	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

学習方法	<p>○作品制作では、習得した知識や技能を使い効果的に生かしてください。また、自分の純粋な発想を大切に、計画的に制作を進め見通しを持って取り組んでください。</p> <p>○鑑賞では、作者の思いや意図・工夫点を感じ取り、さまざまな価値観に気づき得る寛容さを養いましょう。さらには、自らの作品作りへと生かし、発展させていきましょう。</p>		
評価方法	知能・技能 (30%~40%)	思考・判断・表現 (30%~40%)	主体的に学習に取り組む態度 (20%~40%)
	<ul style="list-style-type: none"> ・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 ・表現方法を創意工夫し、創造的に表している。 ・材料や道具を適切に使用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。
	定期考査 確認テスト 作品 ワークシート 授業中の様子	定期考査 確認テスト 作品 ワークシート 授業中の様子	定期考査 作品 ワークシート 授業中の様子

令和4年度 八代中学校シラバス

教科	保健体育	科目	保健体育	学年	2	類型	
単位数	3	教科書	大修館書店				
副教材	ステップアップ中学体育 中学校保健体育ノート						

学習目標	健康や運動に関心を持ち、主体的に運動に親しむことができるようにするとともに、知識や技能を身につけ、基礎体力の向上及びたくましい精神を培う。
------	---

学期	学習内容	学習の到達目標 (完全に理解すべき事項)	達成評価		
			A	B	C
1 学 期	体づくり運動	・自己の体に関心を持ち、自己の体力に応じた課題をもって運動を行い体をほぐしたり、体力を高めたりすることができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	陸上競技 (ハードル・走り幅跳び)	・記録の向上や競争の楽しさ、喜びを味わいながら、基本的な動き、効率の良い動きを身につける。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	器械運動(跳び箱運動)	・開脚や閉脚とびなどの切り返し系や台上前転やスプリング系などの回転系の基本的な技を跳ぶことができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	保健	・健康の保持増進のために、心身の健康に対する環境の影響について理解することができる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	水泳	・足のけりを中心として進み、十分な伸びをとりながら長い距離を泳ぐことができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	体づくり運動	・リズムやタイミングを合わせて、ダンスができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 学 期	球技(ネット型)バレーボール	・パスやスパイク、サーブなど基本技能となるボール操作やボールを持たない時の動作を身につけ、簡単なルールでラリーやゲームを楽しむ。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	武道(柔道)	・礼法を身につけ、相手の動きに応じた基本動作から基本となる技を用いて、打ったり受けたりする攻防を展開できる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	保健	・傷害の発生要因について理解し、障害の防止及び応急処置について理解する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	陸上競技	・自己の能力に応じて長い距離をより速くはしることができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3 学 期	球技(ベースボール型)	・基本的なバット操作やボール操作、走塁による攻防ができるとともに、簡単なゲームを楽しむことができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	保健	・傷害の発生要因について理解し、障害の防止及び応急処置について理解する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	体育理論	・運動やスポーツの効果や安全な行い方について理解することができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※A:十分に満足できる B:概ね満足できる C:努力を要する

学習方法	<p>★実技の時間は、チャイムですぐに始めることができるように集合場所で整列して待ちましょう。</p> <p>★挨拶や返事は大きな声で行い、きびきびとした集団行動を心がけましょう。</p> <p>★学習シートはその日のうちに書いて提出し、各自めあてをもって授業に参加しましょう。</p> <p>★自分の体力に応じた課題を持ち、日頃から生活の中に運動を取り入れましょう。また、運動・スポーツに関する情報を収集し、興味・関心を高めましょう。</p> <p>★各種目の特性や技術、ルール等はステップアップ中学体育で調べ、予習して授業に臨みましょう。</p>
------	---

	知能・技能 (35%)	思考・判断・表現 (35%)	主体的に学習に取り組む態度 (30%)
評価方法	各運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、伝統的な考え方、各領域に関連して高まる体力、健康・安全の留意点についての具体的な方法及び運動やスポーツの多様性、運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方についての考え方を理解しているとともに、各領域の運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。	運動を豊かに実践するための自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、自己や仲間 の考えたことを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、公正、協力、責任、共生などに対する意欲をもち、健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている。
	①活動状況観察 ②学習シート・レポート ③ 学年末テスト	①活動状況観察 ②学習シート・レポート ③期末テスト	①活動状況観察 ②学習シート

教科	技術・家庭	科目	技術	学年	2	類型	
単位数	2単位	教科書	新編新しい技術・家庭 技術分野（東京書籍）				
副教材	熊本県版 技術・家庭学習ノート（新学社）						

学習目標	ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる。
------	--

学期	学習内容	学習の到達目標 (完全に理解すべき事項)	到達自己評価 A B C
1 学 期	10月まで家庭科を学習する。		
2 学 期	3編 生物育成に関する技術 第1章 生物を育てる技術の特徴 ③動物を育てる技術を知ろう ④水産生物を育てる技術を知ろう 第2章 生物を育てるための計画と管理 ①生物の育成計画を立てよう ②植物や環境を観察して育成しよう 第3章 生物育成に関する技術の評価・活用 ①生物育成に関する技術を未来に生かそう 学習のまとめ	1 生物の育成に適する条件と生物の育成環境を管理する方法を知る。 2 生物の育成に関する技術の適切な評価・活用について考えることができる。 3 目的とする生物の育成計画を立て、生物の栽培又は飼育ができること。	□ □ □ □ □ □ □ □ □
3 学 期	1編 材料と加工に関する技術 第1章 材料と加工法 ①材料と加工に関する技術について知ろう ②材料の特徴を知ろう ③材料に適した加工法を知ろう ④製作品を丈夫にする方法を知ろう	1 技術が生活の向上や産業の継承と発展に果たしている役割について考えることができる。 2 材料の特徴と利用方法を知る。 3 材料に適した加工法を知り、工具や機器を安全に使用しようできる。	□ □ □ □ □ □ □ □ □

<p>第2章 製作品の設計・制作</p> <p>①生活に役立つ製作品を構想しよう</p> <p>②製作品の構想をまとめよう</p> <p>製図</p> <p>③作業手順を考えて制作しよう</p> <p>基礎技術</p> <p>④完成した製作品を評価しよう</p> <p>第3章 材料と加工に関する技術の評価・活用</p> <p>①材料と加工に関する技術を未来に生かそう</p> <p>学習のまとめ</p>	<p>4 使用目的や使用条件に即した機能と構造について考えることができる。</p> <p>5 構想の表示方法を知り、製作図を書くことができる。</p> <p>6 部品加工、組立て及び仕上げができること。</p>	<p>□ □ □</p> <p>□ □ □</p> <p>□ □ □</p>
--	---	--

※A：十分に満足できる B：概ね満足できる C：努力を要する

学習方法	副教材の技術ノートで要点をおさえながら授業を行っていきます。木の板を使って作品を制作してもらうので提出を忘れないようにしてください。		
評価方法	<p>知能・技能 (40%)</p> <p>工具や機器を安全に使用できる。材料の特徴と利用方法及び材料に適した加工法についての知識を身に付け、材料と加工に関する技術と社会や環境とのかかわりについて理解している。</p>	<p>思考・判断・表現 (40%)</p> <p>よりよい社会を築くために、生物育成に関する技術を適切に評価し活用している。</p>	<p>主体的に学習に取り組む態度 (20%)</p> <p>よりよい社会を築くために、材料と加工に関する技術や生物育成に関する技術を適切に評価し活用しようとしている。 生物育成に関する技術に関わる倫理観を身に付け、知的財産を創造・活用しようとしている。</p>
	<p>定期テスト 小テスト 授業時の課題</p>	<p>定期テスト 小テスト 授業時の課題</p>	<p>授業中の様子 課題の提出状況 定期テスト 発表</p>

令和4年度 八代中学校シラバス

教科	技術・家庭	科目	家庭	学年	2	類型	
単位数	2	教科書	新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して（東京書籍）				
副教材	熊本県版 技術・家庭学習ノート 家庭分野						

学習目標	衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。
------	--

学期	学習内容	学習の到達目標 (完全に理解すべき事項)	到達自己評価		
			A	B	C
1 学期	2 編 私たちの衣生活と住生活 1 章 衣生活と自立 ○手入れの基礎技能	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服の計画的な活用の必要性を理解し、適切な選択ができる。 ・衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れができる。 (シャツの取り扱い表示を見てアイロンかけをします。) ・布を用いた物の製作を通して、生活を豊かにするための工夫ができる。 	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	2 章 生活を豊かにするために ○製作の基礎技能 (衣服)	<ul style="list-style-type: none"> ・製作に必要な時間等の見通しを持ち、目的に応じた縫い方や製作方法について理解する。 	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 学期	○製作の基礎技能 (小物)	<ul style="list-style-type: none"> ・手縫いやミシン縫いなどの基礎的・基本的な知識と技術を活用し、生活を豊かにするものを製作する。 	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	1 編 私たちの食生活 3 章 調理と文化 ○りんごの皮むきテスト	<ul style="list-style-type: none"> ・地域または季節の食材を生かすなどの調理を通して、地域の食文化について理解する。 	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	○和食弁当 (魚と野菜の調理)	<ul style="list-style-type: none"> ・安全と衛生に留意し、食品や調理用具などの適切な管理ができるようになる。 	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	○洋食弁当 (肉と野菜の調理) ○地域の食材を生かした調理をしよう。	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な日常食の調理ができるようになる。 ・食生活に関心を持ち、課題を持って日常食または地域の食材を生かした調理などの活動について工夫し、計画を立てて実践できる。 	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3 学期	10月から 技術分野を学習します。				

※A：十分に満足できる B：概ね満足できる C：努力を要する

学習方法	<p>授業で身につけた知識や技術を日常生活のなかで生かし、日々の生活の改善・充実に努めるようにしましょう。</p> <p>各課題は基本的には学校内で行う。課題の提出については期限を守りましょう。</p> <p>実習に際しては、沈黙と集中をもって取り組み、安全にかつ協力して進めましょう。</p>
------	---

	知能・技能 (3観点の割合は同じ)	思考・判断・表現 (3観点の割合は同じ)	主体的に学習に取り組む態度 (3観点の割合は同じ)
評価方法	家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
	定期考査 作品・レポート ワークシート・ノート 授業時の課題や様子	定期考査 作品・レポート ワークシート・ノート 授業時の課題や様子	授業中の様子 作品・レポート ワークシート・ノート 定期考査

令和4年度 八代中学校シラバス

教科	外国語	科目	英語	学年	2	類型	
単位数	4	教科書	NEW HORIZON English Course 2				
副教材	中学必修テキスト中学2年英語, 中学実力練成αスタンダード英語2年, トーク・アンド・トーク Book2, 速読英単語中学版						

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・はっきりと話されれば、日常的な話題について、話の概要を聞き取ることができる。 ・日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたまとまりのある文章の概要を捉えることができる。 ・日常的な話題について、事実や自分の考え、気持などを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、まとまりのある内容を話したり、書いたりすることができる。
------	--

学期	学習内容	学習の到達目標 (完全に理解すべき事項)	到達自己評価 A B C
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・ Unit 0 My Spring Vacation ・ Unit 1 A Trip to Singapore ・ Unit 2 Food Travels around the World ・ Unit 3 My Future Job ・ Stage Activity 1 A Message to Myself in the Future ・ Let's Read 1 History of Clocks 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 過去形、過去進行形を用いた文の復習。 ・ There is/are . . . の文の習得。 ・ be going to、助動詞 will を用いた文の習得。 ・ 5文型の構造、意味、用法を理解する。 ・ 接続詞(when, if, that, because)を用いた文の習得。 ・ 10年後の自分へのメッセージを伝えるために、お互いの好きなこと、向いていると思う仕事を理由とともに伝えあつて整理し、自分にあうと思う仕事について書くことができる。 ・ 文章の大まかな流れを時間軸に沿ってまとめるために、時計が発展してきた歴史について書かれた文章の概要を捉えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・ Unit 4 Homestay in the United States ・ Unit 5 Universal Design ・ Unit 6 Research Your Topic ・ Stage Activity 2 Research and Presentation ・ Let's Read 2 A Glass of Milk 	<ul style="list-style-type: none"> ・ have to、助動詞 must、動名詞を用いた文の習得。 ・ 〈疑問詞+to〉、〈主語+be +形容詞+that〉を用いた文の習得。 ・ 比較表現を用いた文の習得。 ・ 聞き手のことを考えて分かりやすく伝えるために、クラスで人気のあるものについて調査し、その結果をまとめて発表することができる。 ・ 気持ちを込めて音読することができるように、物語の場面や登場人物の心情の変化を読み取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □

3 学 期	• Unit 7 World Heritage Sites	• 受け身を用いた文の習得。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	• Stage Activity 3 My Favorite Place in Our Town	• 自分の街のお勧めの場所について、その場所の特徴や よい点を整理して伝えたり、相手からの質問に答えたり できるようになる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	• Let's Read 3 Pictures and Our Beautiful Planet	• 文章の大まかな流れを時系列に沿ってまとめたり、そ こからわかる環境問題について考えを伝えあったりす るために、ある人物の生涯について書かれた文章の概 要を捉える事ができる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

※A：十分に満足できる B：概ね満足できる C：努力を要する

学習方法	予習をして授業の精度を高めます。授業では、言語の理解・習熟・応用のバランスを考えて單元ごとに 技能を高めます。復習として既習事項の徹底を図ります。また、小テストを実施してスモールステップ を実践します。
------	---

	知能・技能 (40%)	思考・判断・表現 (30%)	主体的に学習に取り組む態度 (30%)
評価方法	外国語の音声や語い、表現、文 法、言語の働きなどを理解する とともに、これらの知識を聞く こと、読むこと、話すこと、書く ことによる自裁のコミュニケー ションにおいて活用できる能力 を身につけている。	コミュニケーションを行う目 的や場面、状況などに応じて、 日常的な話題や社会的な話題 について、外国語で簡単な情 報や考えなどを理解したり、 これらを活用して表現したり 伝え合ったりすることができる。	外国語の背景にある文化に対す る理解を深め、聞き手、読み手、 話し手、書き手に配慮しながら、 主体的に外国語を用いてコミュ ニケーションを図ろうとしてい る。
	定期テスト、小テスト 授業時の課題	定期テスト、小テスト パフォーマンステスト 授業時の課題、発表	定期テスト、小テスト パフォーマンステスト 授業時の課題、発表 授業中の様子、課題の提出状況